

NIE特集

Newspaper In Education

どきどき小学生

榴岡小

学校名 仙台市立榴岡小学校 校長 久能 和夫
所在地 仙台市宮城野区東九番丁88の1 児童 455人
電話 022(256)3283

すずのおとど 2年 相模悠



くじくがはねをひらいて 1年・松岡真由



エイサー 3年・志布龍一



ぼくを通りかかった 4年・氏家愛留



うきうきキャンパス



物語の絵「白羽の鶴」 6年・持野莉少



ぼくの部屋から見える風景 5年・榎野宗悟



アイロンビーズ あすなる学級



榴岡天満宮 天神まつりに迫る!



地域のひとと熱い交流

私たちが榴岡小の近くには宮原通をまたいだ榴岡天満宮があります。毎年行われるのが「榴岡天神まつり」で、勇壮な「天人分し」と「子ども分し」が、「ソイナ、ソイナ」の掛け声とともに輝く伝統行事です。私も今年も参加しました。その取材、体験を報告します。

「地域のひとと熱い交流」

「ソイナ、ソイナ」の掛け声に合わせ、子どもたちが元気よく歩きます。お祭りの雰囲気を楽しんでいる様子です。

「天人分し」は、天神様を祀るお祭りです。子どもたちが、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「子ども分し」は、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「アイロンビーズ」は、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

みこし担ぎ健康願う

知り隊

参加は4、6年生約180人、大人分しをもち、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「天人分し」は、天神様を祀るお祭りです。子どもたちが、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「子ども分し」は、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「アイロンビーズ」は、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

編集後記

今年度は、河北新報の現に私たちが生きている、そして、私たちが生きていくために必要なことを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「天人分し」は、天神様を祀るお祭りです。子どもたちが、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「子ども分し」は、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

「アイロンビーズ」は、お祭りの楽しさを伝えるために、お祭りの様子をお絵描きで表現しています。

教え隊 弟子入り留学

仕事への姿勢を学ぶ

毎年秋、4年生が総合的な学習の時間に「弟子入り留学」を行います。2日間、八百屋さんや文具店、ケーキ屋さんなど地域のお店や神社、お寺などに行き、仕事を教えてもらい、体験させていただけます。

わたしたちは、いつも店をきれいにし、どんなに忙しくても笑顔で接客できるように心がけています。

文・向谷地保、吉田敏史(6年)

■エコ考え行動しよう■

私は学校で食べ物のゴミについて勉強しました。昔の食事を比べてみると、「おかこ」を見せられて前の方が少ないのがわかりました。そこで、私たちができるエコ活動を考えてみました。

例えば、買い物では、初めのものを買い、料理では生みかきを食べる、後片付けは水を大切にすることなどです。考えたことを実行して、環境を大切にしようという行動ができました。

その学習で学んだことを実行し、今年3月に行われた子どもの環境フォーラムで発表しました。これもエコ活動を続けていきたいと思っています。それがいい習慣になっていくと思います。(5年・樋口聖)

■「発表」で視野広がる■

私は4年生のころ、いろいろな行事や発表の経験があることに、「ちやてみない？」と先生に話をかかってもいいのがきつくて、きまをまをきにチャレンジするようになりました。

先志や仙前駅東口の中央市民センターの方へ行って、自由研究で宮城県の観光地について発表することがあります。そのとおお世話になった市民センターの方へ、学校の中ではなくお会いする機会のない方なので、知りたかったことができて良かったと思っています。いろいろな人と、一つのものを発表するのはとても楽しいことで、これからも機会があればぜひチャレンジしてみたいと思います。(3年・目黒聖)

言い隊

私は学校で食べ物のゴミについて勉強しました。昔の食事を比べてみると、「おかこ」を見せられて前の方が少ないのがわかりました。そこで、私たちができるエコ活動を考えてみました。

例えば、買い物では、初めのものを買い、料理では生みかきを食べる、後片付けは水を大切にすることなどです。考えたことを実行して、環境を大切にしようという行動ができました。

その学習で学んだことを実行し、今年3月に行われた子どもの環境フォーラムで発表しました。これもエコ活動を続けていきたいと思っています。それがいい習慣になっていくと思います。(5年・樋口聖)

毎月第2・4火曜日発行

これまでの掲載紙の紙面を河北新報のホームページ(KOLNET)で見ることができます。